SONY

5-045-380-**01**(1)

サウンドバー

使用上のご注意／仕様

インターネット上で使いかた（ヘルプガイド）などのサポート情報が閲覧できます。閲覧は無料ですが通信料は通信契約に依存します。

https://rd1.sony.net/help/ht/2079/ja/

©2022 Sony Corporation
Printed in China

* 5 0 4 5 3 8 0 0 1 * (1)

HT-S2000

本製品をご使用いただく前に、以下のURLより「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。なお、この内容は、本製品に接続される別売スピーカーにも適用されます（ただし、当該別売りスピーカーに使用許諾契約の定めが別途ある場合を除きます）。
URL：https://rd1.sony.net/help/vs/el22/h_zz/

マニュアルについて
- 使用上のご注意／仕様（本書）：ご使用の前にお読みください。仕様や、ご注意などを記載しています。
- ヘルプガイド：本機の使い始めと詳しい操作説明を記載しています。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

型式: YY2079C

この文書でいう「製品」とは、本機またはその付属品を指しています。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

①電源を切る
②電源プラグをコンセントから抜く
③ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に相談する

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない
火災や感電の危険をさけるために、本機やACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機やACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。
➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本機やACアダプターを本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。
禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する
本機やACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。
指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となることがあります。
➡ 内部の点検や修理は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。
分解禁止

雷が鳴りだしたら、本体、ACアダプターや電源プラグに触れない
感電の原因となります。
接触禁止

本機を日本国外で使わない
交流100 Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 設置時、本機と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源コードを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。
禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターや電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。
ぬれ手禁止

大音量で長時間つづけて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをおすすめします。
禁止

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。
禁止

コード類は正しく配置する
電源コードや接続ケーブルは足にひっかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。
禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。
プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。
プラグをコンセントから抜く

設置上のご注意
本機の角でけがをしないようにお気をつけください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない
清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。
禁止

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
禁止

医療機器に近づけない
本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。
禁止

サウンドバーについて
機銘板は底面に貼ってあります。

ACアダプターについて
ACアダプターの機種名とシリアルナンバーは、ACアダプターの底面に表示してあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない
電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることもあります。
接触禁止

必ず次の処理をする
➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。
指示

⚠警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
➡ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。
禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、火のそばや直射日光のあたるところなど高温の場所で使用・保管・放置しない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
電池が液漏れしたり、異臭がする時にはただちに火気より遠ざけてください。
禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
禁止

＋と－の向きを正しく入れる
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。
指示

使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。
指示

使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

無線の周波数について
本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
2.4 GHz機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店までお問い合わせください。

2.4DS4/OF4

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4FH2/XX8

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。FH2は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。XX8はその他の変調方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

本機につなぐルーターなどは、電気通信技術基準に基づく技術基準に適合しているものを利用してください。

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
J52 W52 W53 W56

IEEE 802.11a/b/g/n/ac準拠
（W52/W53/W56）

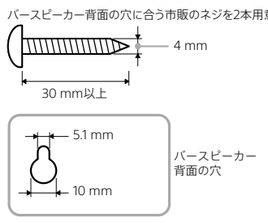
付属の電源コードについて
付属の電源コードは、本製品専用です。他の電気機器では使用できません。

CEマークは主にEEA（European Economic Area）各国とスイスなど、法律に定められた国や地域においてのみ有効です。
UKCAマークは主に英国など、法律に定められた国や地域においてのみ有効です。

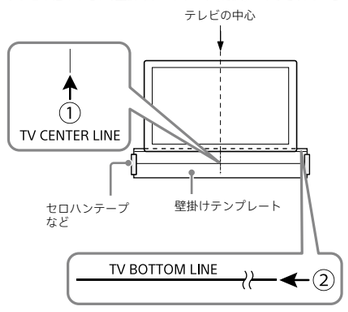
バースピーカーを壁に取り付ける

ご注意
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- バースピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。
- 安全のために、取り付けは必ず2人以上で行ってください。

1 バースピーカー背面の穴に合う市販のネジを2本用意する。

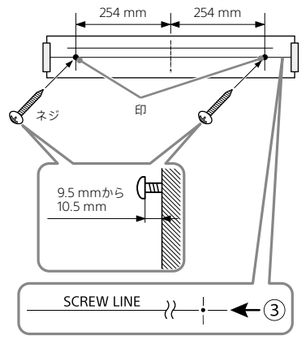


2 テレビの幅の中心に、壁掛けテンプレート（付属）に印字されている「↑ ①TVセンターライン」の縦線を合わせる。



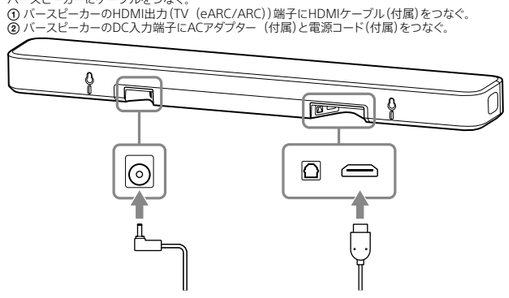
3 壁掛けテンプレートに印字されている「← ②TV下端ライン」をテレビの下端に合わせ、壁掛けテンプレートを市販のセロハンテープなどで貼る。

4 壁掛けテンプレートに印字されている「← ③ネジ取付けライン」の印の位置に、手順1で用意したネジを留める。



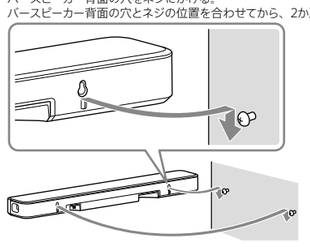
5 壁掛けテンプレートを取りはずす。

6 バースピーカーにケーブルをつなぐ。
① バースピーカーのHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子にHDMIケーブル（付属）をつなぐ。
② バースピーカーのDC入力端子にACアダプター（付属）と電源コード（付属）をつなぐ。



ご注意
- お使いのテレビがeARC/ARCに対応していない場合は、HDMIケーブル（付属）に加えて光デジタル音声ケーブル（別売）もつないでください。
- テレビ側の接続についてはヘルプガイドをご参照ください。

7 バースピーカー背面の穴をネジにかける。
バースピーカー背面の穴とネジの位置を合わせてから、2か所同時に取り付けてください。



ご注意
- 壁掛けテンプレートはしっかり伸ばして貼ってください。
- テレビとバースピーカーの距離を70 mm以上離して設置してください。

8 テレビのHDMI入力端子にHDMIケーブル（付属）をつなぐ。

9 バースピーカーにつないでいる電源コードをコンセントに差し込む。

ライセンスについて
- Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio及びダブルD記号は ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。
  ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。
  著作権 1992-2021年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- DTSの特許については、http://patents.dts.comをご覧ください。
  本製品はDTS社からの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS:X、およびDTS:Xロゴは、米国および他の国々で登録されたDTS 社の登録商標または商標です。
  © 2022 DTS, Inc. 版権所有
- 本製品にはMicrosoft Corporationの知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoftまたはその関連会社から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。
- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
  https://rd1.sony.net/help/ht/sl/v1/23/
- 本製品に含まれるソフトウェアには、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限らせて頂きます。
  https://oss.sony.net/Products/Linux/
  なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。

第三者が提供するサービスに関する免責事項
- 第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

使用上のご注意

- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

取り扱いについて
- 暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 本機の通風孔をふさぐと、内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。通風孔を絶対にふさがないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。

本機のお手入れのしかた
- キャビネットは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

BLUETOOTH®通信について
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
  – 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く

その他のご注意
- ［自動電源オフ］機能を無効にすると本機の消費電力が上がります。
- 本機をインターネットに接続する場合は、ルーター（インターネットプロバイダーから提供されるルーター機能付きADSLモデムや光回線終端装置、またはWi-Fiアクセスポイントなど）を使用して接続してください。ルーターを使わずに接続すると、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。
  壁に付いているネットワーク回線用のコンセント機器にルーター機能が付いているか不明な場合は、集合住宅の管理者やインターネットプロバイダーにご確認ください。

商標について

- Windows Mediaは米国および／またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴ は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- HDMI®、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

仕様

サウンドバー（HT-S2000）

アンプ部
実用最大出力（非同時駆動、JEITA*）
　フロントL ／フロントRスピーカーブロック：50 W（各チャンネル6 Ω、1 kHz）
　センタースピーカーブロック：50 W（6 Ω、1 kHz）
　サブウーファーブロック：50 W（各チャンネル6 Ω、100 Hz）
　* JEITA（電子情報技術産業協会）規定による測定値です。

HDMI部
端子
　19ピン標準コネクター（Type A）

USB部（サービス専用）
　FOR SERVICE端子
　Aタイプ（USBメモリー）

無線LAN部
通信方式
　IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
使用周波数帯域
　2.4 GHz、5 GHz

BLUETOOTH部
通信方式
　BLUETOOTH標準規格 Ver.5.2
使用周波数帯域
　2.4 GHz 帯（2.400 0 GHz ～ 2.483 5 GHz）

一般
電源
　DC 25 V（付属のACアダプターをつないでAC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz電源にて使用）
消費電力
　電気用品安全法による表示：42.0 W
　［ネットワーク／ Bluetoothスタンバイ］がオンのとき：2.0 W以下
　［ネットワーク／ Bluetoothスタンバイ］がオフのとき：0.5 W以下
最大外形寸法*（約）（幅／高さ／奥行き）
　800 mm × 64 mm × 124 mm
　* 突起部除く
質量（約）
　3.7 kg
本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

ワイヤレストランスミッター／レシーバー部

通信方式
　Wireless Sound Specification version 4.0
使用周波数帯域
　5 GHz 帯

同梱品

- サウンドバー（1）
- リモコン（1）
- 単4形マンガン乾電池（2）
- 壁掛けテンプレート（1）
- HDMIケーブル（ハイスピードHDMIケーブル（イーサネット対応）同等）（1）
- ACアダプター（1）、電源コード（1）
- 使用上のご注意／仕様（本書）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
- この説明書とヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
- 製品内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用中のケーブル類なども合わせてお持ちください。

保証期間中の修理は
- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
- 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
- 当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について
- この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ソニーの相談窓口のご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、ホームページまたはソニーの相談窓口へ。
- 相談窓口へお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  – 型名
  – ご相談内容：できるだけ詳しく
  – お買い上げ年月日

ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

型名：HT-S2000

お問い合わせ窓口

●各種お問い合わせ（LINEやメールなど）
詳しくは 以下のホームページをご覧ください。
https://www.sony.jp/support/inquiry.html

●電話でのお問い合わせ

【使い方相談窓口】
フリーダイヤル：
0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話：
050-3754-9577

【修理相談窓口】
フリーダイヤル：
0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話：
050-3754-9599

ガイダンスに沿って短縮番号「３０６」+「#」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

FAX：（共通）0120-333-389
ソニー株式会社
〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

dts X　Dolby Atmos